花爛漫

校訓
自律　英知　鍛錬

宇城市立三角中学校
学校新聞
令和３年７月１３日
編集代表
校長　永田　功臣

図書室掲示（７月）

野外活動に行ってきました！

１年生　天草青年の家（6.30）

六月三〇日（水）、一年生は天草青年の家で『野外活動教室』を行いました。

本来は、宿泊を伴う行事でしたが、感染状況を考慮し日帰りで行いました。

この活動の目的は、子どもたちが協力して活動することを通して、集団生活のルールを学ぶことです。班に分かれて午前中はペーロン船体験、午後はウォークラリーを行いました。みんな活発に行動していました。

野外活動をふり返って

一年二組　中村彩花

私は、ウォークラリーが一番印象に残りました。なぜかというと、班長の玲さんが班のみんながちゃんとついて来られるように、歩くのが遅い人に合わせて歩いていたことです。クモの巣やアブがいたときは、班のみんなに聞こえるように「気を付けて」等の声かけをしていました。

楽しかったことは、初めて漕いだペーロンです。楽しいけど肩がとても痛くなりました。海にはクラゲがいて、ペーロンを漕ぐとき、クラゲがいないかなと、ワクワクしながら漕ぎました。

野外活動を通して学んだことは、友達との協力です。ウォークラリーでは合わせて歩いてくれたこと、ペーロン競争では負けたけど一致団結できたこと、これらのことを通して、**『友達との協力』**を学びました。

活動後の記念撮影　いい表情です
（右が１組、左が２組）

柔道部健闘！個人三名が県大会出場！

祝　おめでとう！

団体の部：３位
個人：-55 kg級：優勝　松内大志
　　準優勝　山本一稀
　　-50 kg級：準優勝　長木賢人

宇城中体連夏季大会は、六月十九・二十、二六・二七日の四日間で各競技日程をずらして行われました。

三角中の選手たちは、どの部も最後まであきらめず精一杯取り組みました。特に三年生にとっては最後の中体連、それは対戦相手も同じです。どちらの「勝ちたい」という思いが強いか」という部分と、その思いを抑えてどれだけ冷静にプレーできたかという部分がうまくかみ合ったチームに勝利の女神が微笑んだのではないかと思います。

三角中から県大会に出場するのは、柔道の個人戦-55 kg級で優勝した松内大志くん、同級準優勝の山本一稀くん、-50 kg級準優勝の長木賢人くんです。少ない部員でコツコツと練習を積み重ね、見事な成績を残すことができました。県大会に向けての決意を掲載します。

三角中同士の決勝戦！

『天川くんの分まで…』

松内大志

自分は、今まで中体連大会に向けて練習を積み重ねてきました。宇城中体連で勝つことができ、県中体連に出場することができました。出場するからには、優勝して全国大会に出場することを目指し、最後まで諦めずに頑張ります。

ケガで出場できない天川くんの気持ちを背負って、県中体連に挑みます。応援よろしくお願いします。

『三年間の思いを…』

山本一稀

ぼくは、一年生の時の宇城中体連は一回戦で負けてとても悔しい気持ちになりました。

昨年の二年生の時は、新型コロナウイルスによって中体連が中止されました。

三年生になり、最後の中体連が開催されるのか心配しましたが、何とか試合をすることができ、-55kg級で二位になりました。県中体連に出ることができるので、精一杯がんばりたいです。応援よろしくお願いします。

『教えてもらったことを…』

長木賢人

昨年はコロナで中止になってしまったため、ぼくにとって今年が初めての中体連となり、とても緊張しました。しかし、コーチや先輩方に教えてもらったことを思い出して、試合に取り組むことができました。その結果、-50kg級で準優勝することができたのでうれしかったです。

県中体連では、一つでも多く勝ち上がれるようにしたいです。応援よろしくお願いします。

宇城中体連結果（柔道以外）

◇軟式野球：３位
◇女子ソフトテニス（団体）
　１回戦敗退（対中央中）
◇女子バスケットボール
　１回戦敗退（対不知火中）
◇男子バレー
　松橋中、鶴城中に敗戦
◇空手（個人）敗退
◇弓道（個人）敗退

校長室より

「心を強くする」ことに取り組み、解決していく

職員駐車場で満開に咲いていたヤマボウシの花や校内に飾ってある胡蝶蘭の花が落ち始め暑さが日に日に増してきました。

そんな中、保護者の皆様におかれましては四日間にわたって分散開催され、熱戦が繰り広げられた宇城中体連夏季大会に際し、応援と送迎にご協力いただきありがとうございました。子どもたちもその中で、緊張した部分もありましたが、精一杯頑張る姿を見せてくれました。柔道の個人戦で三名が県大会に出場するという成果も得ることができましたし、どの部も三角中生としての誇りを忘れずに戦ってきたのではないかと思います。

一方、接戦で負けてしまうという試合もいくつか見られました。苦しい時でもそれに耐えて、力を出し切るためにはどうしたらよいかという課題が残されました。人生では、勝った試合よりも負けた試合や失敗から学ぶ事の方がだんぜん多いと思います。私自身も負けた試合の方を鮮明に覚えていますたぶん、悔しい思いから次はこうしようという思考を積み重ねたからだと思います。

三年生は、部活動を引退するため、同じ場面で反省を生かすということは難しいかもしれませんが、他の所でも生きてくると思います。例えば、勉強も同じです。テストでは、間違えた問題を大切にしてください。なぜ間違えたのか、自分なりに素直に振り返って次は間違えない対策を施すことが「学び」になります。

前期前半が終了し、いよいよ夏季休業日に入ります。三者面談や陸上競技大会に向けた練習が計画されています。今後の試合や受験に備え、中体連の宿題**「心を強くする」**ことを一緒に考え、解決していきましょう。